

Global Deeptech Startup Foundry

「売れるシーズ」確立に向けた総合型基盤構築支援プログラム

募集要項

主催・運営事務局: CIC Catalyst (CIC Japan Innovation Services 合同会社)

連携事業者: 弁護士法人内田・鮫島法律事務所 / 熊坂技術士事務所 / QE Compass / WILCO

1. 事業目的

国内の多くのディープテックスタートアップが事業化に向けてぶつかるのが、実験環境と実環境・量産ステージの差です。このため、実験環境での性能が実環境・量産ステージで発揮できず事業会社の求める仕様にとどかず、「技術確立・製品化の壁」にぶつかります。また、その間に知財網構築が遅れ、商談や投資などで評価されない「知財網構築の壁」が生じます。

本プログラムは、研究から生まれた技術を「売れる技術」に育てるためのプログラムです。「品質工学」の専門家が開発現場に伴走し、少ない実験で、「いつでも同じ性能を安定して出せる技術」をつくり上げます。並行して、特許の戦略づくり、事業化、海外展開までを一貫してサポートし、研究シーズを「売れるシーズ」(製品として売れる状態に加え、M&A・ライセンス・技術売却等で商業化できる状態)へ引き上げることを目的とします。

※品質工学(Quality Engineering)とは、日本で体系化され、メカやエレクトロニクス、マテリアルなど多くの製造業のR&Dから製造の現場で活用されてきた技術開発・技術確立の手法です。温度や材料のばらつき(ノイズ)に影響されにくい条件を、少ない実験で効率的に見つけ出し、再現性・安定性の高い“事業会社が信頼できる品質”を実現します。R&D段階から活用(フロントローディング)することで、研究室レベルの技術を量産でも通用する技術へと引き上げます。

2. 募集期間

2026年10月16日(金)～2026年11月30日(月)17時(日本時間)

3. 応募資格

次の要件をすべて満たすこと

- 東京都内に拠点がある(開設予定を含む)こと。

- 開設予定があれば、現時点で地方・海外に拠点を置くスタートアップも応募可能です。
- アーリーステージのディープテックスタートアップであること(製品化・事業化を目指す創業前の研究者も対象)。
- 対象領域に該当していること(先端材料・ナノテクノロジー／フィジカルAI・ロボティクス／量子技術／半導体／バイオテクノロジー／核分裂・核融合エネルギー 等(※創薬・医療領域は対象外))。
- 技術を実用水準に仕上げる課題があること(要求仕様に届かない、現場でばらつきが生じるなど)。
- 意思決定者・技術責任者が、伴走支援(月1回～隔週程度)に関与でき、合意事項を実行できる体制があること。
- プログラム期間内(2029年2月末まで)に一定の成果が見込めること(実験1サイクルに年単位を要する開発は対象外)。

次に該当する場合は対象外とする

- 創薬・医療領域(対象外領域)
- 製品化・事業化を目指していない基礎研究の段階の場合
- 量産まで確立済みで、検査・歩留まり改善のみを目的とする場合
- 資金・知財支援のみを目的とし、技術確立に関する伴走支援を必要としない場合

4. 採択予定数

15社程度(うち海外展開支援の対象は5～10社程度を予定)。

5. プログラム概要

概要資料PDF

<https://jp.cic.com/wp-content/uploads/2026/10/Overview-Global-Deeptech-Startup-Foundry.pdf>

(1) 支援期間・全体像

支援期間:2027年1月(予定)～2029年2月末(最大約2年)。

※提携獲得等により事業化に到達するなど事務局が認める場合は、プログラム期間の途中でも参加を修了でき(早期修了)、プログラム終了時点まで活動をコミットする必要はない。

次の4ステップで伴走する。

ステップ	内容
STEP1 課題・仮説設計	顧客が求めるデータ・要求仕様を整理し、何を示せば導入が進むかを設計し、技術開発の課題を設定する。
STEP2 PoC基本設計開発	品質工学＋事業会社フィードバックで反復PoC。技術レベルの引き上げを中心に、技術・製品・知財・事業を一体で磨く。

ステップ	内容
STEP3 競争優位性確立	技術確立へと到達し、知財ポートフォリオを固め、投資家・事業会社に価値を訴求できる状態にする。
STEP4 提携獲得	複数の事業会社と本格的に商談し、協業・導入・資金調達等に繋げる。

(2) 支援内容

採択企業の技術・事業の状況に応じ、以下の支援を組み合わせ提供します。

- 技術確立・製品化支援: 品質工学の専門家による開発現場への伴走(技術の現状評価、PoC設計、実験計画・データセット構築等)、事業会社による要求仕様・事業モデルへのフィードバック
- 知財網構築支援: 弁護士・弁理士による知財の棚卸し、知財戦略の策定、明細書作成・出願支援
- 事業開発支援: CIC Catalyst の専門チームによる全体コーディネート、事業計画・資本政策の策定支援、事業会社・投資家の紹介
- 海外展開支援プログラム(選抜制): WILCO(フランス)と連携した技術検証・市場展開プログラム(5社程度)、CIC海外拠点を活用した現地ネットワーク構築支援
- 資金支援: 研究開発費補助(1社あたり最大150万円(税込))、海外渡航費補助(1社あたり最大50万円(税込))。対象経費・精算方法等の詳細は採択後に別途案内します。

(3) 参加費

無料

(4) 想定コミット(目安)

STEP1は月1~2回程度、STEP2は隔週程度の伴走。確実に事業化へと進めていくために、一定の稼働をお願いします。

(5) 使用言語

原則日本語(海外展開支援プログラムは英語で実施)。

6. 応募方法

(1) 応募書類

下記エントリーフォームに必要事項を入力の上、ピッチ資料(会社・技術・事業の説明資料)を提出すること。

ピッチ資料の要件: PDFまたはPPTX形式、本編15枚以内(16:9推奨)。次の項目を含むこと。また、海外展開支援プログラムへの参加を希望する場合は英語版資料も合わせて提出すること(同一の内容でなくても構いませんが、事業概要や技術概要がわかる英語版資料を提出してください。英語版資料の提出締め切りは12月7日17時まで)。

1. 表紙・サマリー: 社名/研究者名・技術の一言要約・連絡先
2. 技術の概要: 何ができる技術か、原理
3. 独自性・競争優位: 他にない強み・参入障壁、過去の実績(これまでの開発の進展等)

4. 現状のステージとデータ: 試作／実測・再現性の現状、TRLでのレベル
5. 解決したい技術確立の課題: 要求仕様に届かない／ばらつく等の今の壁の内容
6. 市場・事業化ポテンシャル: 市場規模、想定している出口(販売・M&A・ライセンス)
7. 想定顧客・事業会社と用途: 狙う用途・提携予定／提携したい事業会社像
8. 期間内の目標と計画: 約2年で出したい成果、実験1サイクルの期間・プロセス
9. チーム・実行体制: 本プログラムへの意思決定者／技術責任者の関与・コミット、実行体制
10. 出口・成長戦略: 製品化・調達・提携・EXITの想定
11. (任意・本編に含めない) 海外展開の計画: 進出意向・対象地域、計画
12. (任意・本編に含めない) 知財の状況: 既存出願・開示／秘匿の考え

エントリーフォームURL: <https://forms.gle/wtCbWftZWpSq3m7>

募集説明会(オンライン): 11月6日(金)16時(URL: <https://gds-foundry-202611.peatix.com>)

(2) 応募締切

2026年11月30日(月)17時(日本時間)

7. 審査・選考

(1) 審査方法

書類審査・面接審査(オンライン開催)の2段階で実施します(いずれも非公開)。応募多数の場合、書類審査を通過した応募者のみを対象として面接審査を行います。

(2) 審査基準

書類審査:

- プログラム適合度: 実用化の課題があり、専門家の伴走支援によって前進が見込める段階にあるか。
- 技術の独自性・競争優位: 独自の強みや参入障壁があるか。技術力や成長可能性を示す過去の改善実績があれば、なお望ましい。
- 事業化ポテンシャル・市場性: 十分な市場規模があり、投資に見合う事業成長が期待できるか。販売、M&A、ライセンスなどの出口戦略が見込めるか。
- 事業会社との相性: 想定する顧客との協業・試作導入に現実味があるか。
- 期間内の成果の見込み(スピード感): 2029年2月末までに具体的な進展が期待できるか。
- チームの実行力・受容性: 目標達成に向けた実行体制があり、外部からの助言や指摘を柔軟に受け入れられるか。

面接審査:

- 課題の自己認識と受容性: 自社の課題を具体的に把握・説明でき、助言・事業会社からのフィードバックを受け入れられるか。
- 技術力(課題解決・改善力): 課題に対して論理的に考え、解決策を立案し、改善を進める力があるか。

- 期間内(2029年2月末まで)に成果が出るスピード感:行動力・実行力があり、最大約2年で一定の成果が見込めるか。
- 事業会社との協業に向けた対話姿勢:自社技術の現状を踏まえ、事業会社の要求水準に向けて改善する姿勢があるか。また、情報開示と秘密保持の両立について現実的な考えを持っているか。
- 事業化・成長への意欲:製品化・事業化、資金調達、事業提携などに向けた意欲があり、実現に向けた現実的な道筋を描いているか。

(3) 選考結果の通知

2026年12月下旬を目処に、事務局より応募者へ通知します。

8. 募集・選考スケジュール

項目	日程(日本時間)
応募期間	2026年10月16日(金)～11月30日(月)17:00
募集説明会	2026年11月6日(金) 16:00～
書類審査	2026年12月上旬
面接審査(オンライン)	2026年12月中旬(書類通過者へ個別連絡)
採択(結果通知→参加確認)	2026年12月下旬
支援開始	2027年1月(予定)

9. 応募に係る留意事項

- 採択企業には、プログラムキックオフセミナーや支援期間中の伴走・報告(進捗・KPI等)への参加・対応を求める。
- 応募にかかる費用は応募者の負担とする。
- 参加にかかる費用(旅費交通費、通信費等)は応募者の負担とする(採択後の研究開発費・海外渡航費は上限の範囲で補助があります)。
- 次の場合は審査対象外とするとともに、プログラム実施中に下記の事項が判明した場合は参加を取り消すことがある:
 - 応募資格を満たさない
 - 応募内容に重大な不備がある
 - 虚偽の記載がある
 - 事務局の案内に適切に対応しない
 - 本プログラムの目的を損なう行為があった場合。これにより生じた損害について事務局は責任を負わない。

- 採択企業の活動内容は、各種メディア・広報物に掲載することがある。報道関係者からの取材に応じていただく場合がある。
- 参加期間、及び参加期間終了後に、成果に関するアンケート等の調査に対し協力を求める場合がある。
- 未公開特許の情報や営業上の秘密等の機密情報は、応募資料に記載しないこと。
- 本プログラムは東京都「TOKYO SUTEAM」協定事業であり、取組内容・成果等が東京都のウェブサイト等で公表される場合がある。
- スケジュール・プログラム内容は予告なく変更となる場合がある。

10. お問い合わせ先

「Global Deeptech Startup Foundry」運営事務局 (CIC Catalyst) : gds-foundry@cic.com

11. 参考: 多様な主体によるスタートアップ支援展開事業(TOKYO SUTEAM)とは

TOKYO  TEAM

<https://tokyosuteam.metro.tokyo.lg.jp>

東京都では、令和4年11月に「Global Innovation with STARTUPS」、令和7年11月に「Global Innovation Strategy 2.0 STARTUP & SCALEUP」を策定し、東京が中心となって、挑戦者が希望を持って活躍できる社会の実現に向け、スタートアップ戦略の展開・加速を図っています。加えて、令和7年3月には「2050東京戦略」を策定し、スタートアップに関する2035年までの政策目標を掲げています。

本事業は、東京都と多様な支援者の連携による多彩なスタートアップ支援の展開とその支援者同士のネットワーク化をもって、東京のスタートアップ・エコシステムの強化、ひいてはスタートアップの創出と成長を促進することを目的としています。